

# 地場企業の経営動向調査

(平成17年度第2四半期)

平成17年 11月 7日

 福岡商工会議所

経済部地域経済グループ

TEL 092-441-1118

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,383社（構成比率92.2%）、大企業 117社（構成比率7.8%）により構成されている。

回答した企業数は690社、回答率46.0%となっており、回答企業の内訳は、中小企業626社（構成比率90.7%）、大企業64社（構成比率9.3%）となっている。

中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成17年7～9月期の実績、及び平成17年10～12月期の予想について、平成17年9月末時点で調査した。

## 調査内容

DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」）

DI・・・ Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 景気・経営動向調査

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成17年度第2四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	690	46.0%	
中小企業	1,383	626	45.3%	90.7%
大企業	117	64	54.7%	9.3%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	690	46.0%	
建設業	317	152	47.9%	22.0%
土木建設業	113	61	54.0%	8.8%
建設付帯工事業	94	45	47.9%	6.5%
電気・管工事業	110	46	41.8%	6.7%
製造業	223	120	53.8%	17.4%
食料品製造業	50	24	48.0%	3.5%
繊維製品製造業	13	5	38.5%	0.7%
建材・木・紙製品製造業	7	4	57.1%	0.6%
印刷・製本業	48	19	39.6%	2.8%
窯業・土石製品製造業	7	3	42.9%	2.0%
金属製品製造業	26	18	69.2%	2.6%
一般機械器具製造業	27	19	70.4%	2.8%
電気機械器具製造業	27	15	55.6%	2.2%
その他製造業	18	13	72.2%	1.9%
卸売業	320	164	51.3%	23.8%
食料品卸売業	65	31	47.7%	4.5%
繊維製品卸売業	47	17	36.2%	2.5%
建材・住宅機器卸売業	60	33	55.0%	4.8%
紙・文具・事務機卸売業	7	4	57.1%	0.6%
金属・鋼材卸売業	2	1	50.0%	0.1%
一般機械器具卸売業	34	23	67.6%	3.3%
電気機械器具卸売業	15	8	53.3%	1.2%
石油・化学製品卸売業	12	7	58.3%	1.0%
ゴム・皮革製品卸売業	4	2	50.0%	0.3%
その他卸売業	74	38	51.4%	5.5%
小売業	215	77	35.8%	11.2%
食料品小売業	47	15	31.9%	2.2%
衣料品・身の回り品卸売業	45	19	42.2%	2.8%
石油・化学製品小売業	10	5	50.0%	0.7%
車両運搬具小売業	14	6	42.9%	0.9%
家電・厨房器具小売業	9	6	66.7%	0.9%
百貨店・セルフ店	9	5	55.6%	0.7%
その他小売業	81	21	25.9%	3.0%
運輸・倉庫業	62	29	46.8%	4.2%
旅客運送業	16	11	68.8%	1.6%
貨物運送・倉庫業	46	18	39.1%	2.6%
サービス業	363	148	40.8%	21.4%
情報処理サービス業	51	19	37.3%	2.8%
その他事務所サービス業	219	84	38.4%	12.2%
ホテル・旅館・飲食業	55	27	49.1%	3.9%
その他の個人サービス業	38	18	47.4%	2.6%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況（DI 値の動き）

1. 自社業況は今期 17.3 と、前期との比較でプラス0.4ポイント改善しており、2期連続で改善した。  
業種別では、「運輸・倉庫業」プラス15.9ポイント、「小売業」プラス9.4ポイント、「サービス業」プラス0.2ポイントの改善に対して、「建設業」マイナス3.0ポイント、「卸売業」マイナス2.5ポイント、「製造業」マイナス1.5ポイントの悪化となっている。  
次四半期については、今期実績との比較でプラス8.9ポイントの改善が予測されている。
2. 業界の景気動向は今期 31.4 と、前期との比較でプラス3.8ポイント改善しており、2期連続で改善した。業種別でも、「建設業」の5期連続改善を筆頭にすべての業種において改善した。  
次四半期についても、引き続きプラス13.8ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上高、完成工事高は今期 10.9 と、前期との比較でプラス2.2ポイント改善となったものの、業種別では「製造業」「卸売業」において悪化した。  
次四半期については、7.6 とプラス3.3ポイントの改善が予測されている。
4. 原材料、製（商）品仕入価格は今期 31.6 と、前期との比較でプラス1.2ポイント上昇した。業種別では、4業種で上昇しており、特に「製造業」では9期連続で上昇となり、54.2ポイントの高水準となった。その主な原因として「原油の高騰」が指摘されている。  
次四半期については29.6 と、今期比マイナス2.0ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は今期 21.2 と、前期との比較でプラス4.8ポイントの上昇となっている。業種別では、「サービス業」と「卸売業」が共にプラス8.5ポイント、「建設業」プラス6.9ポイント、「製造業」プラス3.4ポイントの改善となっている。一方で、「小売業」マイナス5.7ポイント、「運輸・倉庫業」マイナス0.2ポイントと悪化している。  
次四半期については12.9 と、プラス8.3ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は今期 26.5 と、前期との比較でマイナス0.3ポイントと悪化している。業種別では「建設業」で4期連続の改善が見られた。  
次四半期については、21.3 とプラス5.2ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は前期に引き続き、「受注、需要の増加」58.9%、「得意先開拓・客数の増加」51.4%の順となっている。  
また、減少の理由についても「受注、需要の減少」71.9%、「客単価の低下」35.7%、「得意先開拓・客数の減少」31.2%の順位に変動はなかった。

- 8 . 当面の経営上の問題点としては、「受注・販売競争の激化」が 58.7%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」が 52.0%、「営業利益の低下」が 43.9%と、3 項目へ指摘が集中している。

業種別では、建設業の「官公需要の停滞」、製造業の「原材料高、入手難」・「販売価格への転嫁難」、運輸・倉庫業の「販売価格への転嫁難」・「人材難、求人難、定着性の悪化」・「経費の増加」、卸売業の「販売価格への転嫁難」、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」は、それぞれ 30% 超の指摘割合となっている。

#### 参考指標

日経平均株価	13,574.30 円	(平成 17 年 9 月 30 日 終値)
対米ドル円相場	113 円 26 銭 ~ 29 銭	(平成 17 年 9 月 30 日 17 時)
新発 10 年国債利回り	1.475 %	(平成 17 年 9 月 30 日 終値)
原油価格(WTI)	US\$66.24/バレル	(平成 17 年 9 月 30 日 終値)

## DIの特徴的な動き

10月の月例経済報告(内閣府)では、「景気は緩やかに回復している」とし、前月の判断「景気は企業部門と家計部門がともに改善し緩やかに回復している」から部門限定的な表現を削除している。併せて「企業収益は改善し、設備投資は増加している。個人消費は、緩やかに増加している。雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。輸出は持ち直し、生産は横ばいとなっている。先行きについては、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。」としている。

政府がこのような判断を示している中、当所の今四半期(平成17年7~9月)調査において、地場企業の自社業況判断指数(DI値=前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値)の全業種平均DIは17.3となり、前期(平成17年4~6月)の17.7と比べマイナス幅は0.4ポイント縮小し、2期連続の改善となった。

### 【DI値の推移】

H14 第3 期	H14 第4 期	H15 第1 期	H15 第2 期	H15 第3 期	H15 第4 期	H16 第1 期	H16 第2 期	H16 第3 期	H16 第4 期	H17 第1 期	H17 第2 期
41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.6	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7	17.3

業種別のDI値を前期と比べてみると、改善しているのは運輸・倉庫業プラス15.9ポイント、小売業プラス9.4ポイント、サービス業プラス0.2ポイント。一方、悪化しているのは、建設業マイナス3.0ポイント、卸売業マイナス2.5ポイント、製造業マイナス1.5ポイントとなっている。また、企業規模別では、中小企業についてはプラス1.2ポイント、大企業についてはマイナス10.5ポイントとなった。

次期予測については、全業種平均DIは8.4と今期実績と比べプラス8.9ポイントの改善が予測されている。

自社の属する業界の景気動向DI値については、今期31.4と、前期との比較でプラス3.8ポイントの改善となっている。

生産額、売上高、完成工事高のDI値については、今期 10.9 と、前期との比較でプラス 2.2 ポイントの改善となっており、業種別では、製造業・卸売業を除く 4 業種で改善が見られた。

売上が増加した理由については、前期に引き続き「受注、需要の増加」58.9%、「得意先開拓・客数の増加」51.4%に集中している。逆に、減少した理由として「受注、需要の減少」71.9%、「客単価の低下」35.7%、「得意先、客数の減少」31.2%の順も前期同様であった。

原材料、製（商）品仕入価格は、今期 31.6 と、前期との比較でプラス 1.2 ポイント上昇となった。業種別では、製造業については 9 期連続の上昇により 54.2 ポイントの高水準となった。卸売業についても 7 期連続の上昇となっている。

次四半期については、今期比マイナス 2.0 ポイントとなる 29.6 が予測されている。

受注価格、販売価格については、今期 21.2 と、前期との比較でプラス 4.8 ポイントと 2 期ぶりに改善した。小売業、運輸・倉庫業を除く 4 業種において改善している。

次四半期については、12.9 とプラス 8.3 ポイントの改善が予測されている。

営業利益は今期 26.5 と前期との比較でマイナス 0.3 ポイントの悪化となっている。業種別では小売業マイナス 5.9 ポイント、サービス業マイナス 5.8 ポイント、製造業マイナス 1.8 ポイントの悪化となった。一方で、運輸・倉庫業プラス 29.6 ポイント、卸売業プラス 2.4 ポイント、建設業プラス 0.3 ポイントと改善した。

次四半期については、21.3 とプラス 5.2 ポイントの改善が予測されている。

当面の経営上の問題点としては、「受注・販売競争の激化」58.7%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」52.0%、「営業利益の低下」43.9%の 3 項目が全業種共通した指摘事項となった。他に指摘が集中している項目として、建設業の「官公需要の停滞」、製造業の「原材料高、入手難」・「販売価格への転嫁難」、運輸・倉庫業の「人材難、求人難、定着性の悪化」・「経費の増加」、卸売業の「販売価格への転嫁難」、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」は、それぞれ 30% を超える結果となった。

## まとめ

今期の自社業況については、業種別では、運輸・倉庫業、小売業、サービス業が堅調に改善。悪化した建設業、製造業、卸売業についても小幅であり、全業種(DI値 17.3)では2期連続で改善した。前期に続いて、過去5年間では平成16年1~3月期(DI値 16.6)に次ぐ水準となっており、景気動向は改善の流れを維持している。

DI値が堅調に推移した理由としては、運輸・倉庫業と小売業が大幅に改善したことや、悪化した業種についても小幅に留まるなど、全般的に前期より改善した状況を維持する流れが続いていることが上げられる。

特に小売業では天神地区が好調に推移し、消費回復を実感する声が上がっている。サマーセールが引続き好調であったことや、これまでと異なりブランド品・高級時計など高価な商品に動きが出ており、お買い得感があるものと高級な商品に志向が集まる、いわゆる消費の「2極化」が起こっている。

次期予測(DI値 8.4)においてはさらに改善(今期比プラス8.9ポイント)が見込まれている。その内容を見ると、全業種において改善が予測されており、来期(10~12月期)への期待ぶりが伺える。

しかしながら、昨今の原油高騰の影響に対する懸念が製造業、卸売業、運輸・倉庫業を中心に指摘されており、「価格転嫁が困難」との声が複数上がっている。このことから、今後の原油市場の動向は最大の注目材料と思われる。

以上のように次四半期については、全業種平均の自社業況は今期の流れを受けて引き続き改善すると予測されており、DI値 8.4の水準は、(バブル崩壊後最初の景気回復のピークとされる)平成8年4~6月期(DI値 4.2)以降最高値となり、引き続き回復に向けた動きとなっている。

# 1. 自社・業界の景況

《自社景況は2期連続の改善、次期予測はさらに改善へ》

今四半期（H17年7～9月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は22.9%（前期比+0.4ポイント）、悪くなったと回答した企業割合は40.2%（前期比±0ポイント）、横ばいであると回答した企業割合は36.8%（前期比±0ポイント）となった。DI値は 17.3(前期DI 17.7)となり、前期比で+0.4ポイント改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると 運輸・倉庫業+15.9ポイント（前期DI 40.0）、小売業+9.4ポイント（同 27.6）、サービス業+0.2ポイント（同 13.0）の改善となっている。一方では、建設業-3.0ポイント（同 12.7）、卸売業-2.5ポイント（同 13.4）、製造業-1.5ポイント（同 22.7）の悪化となっている。

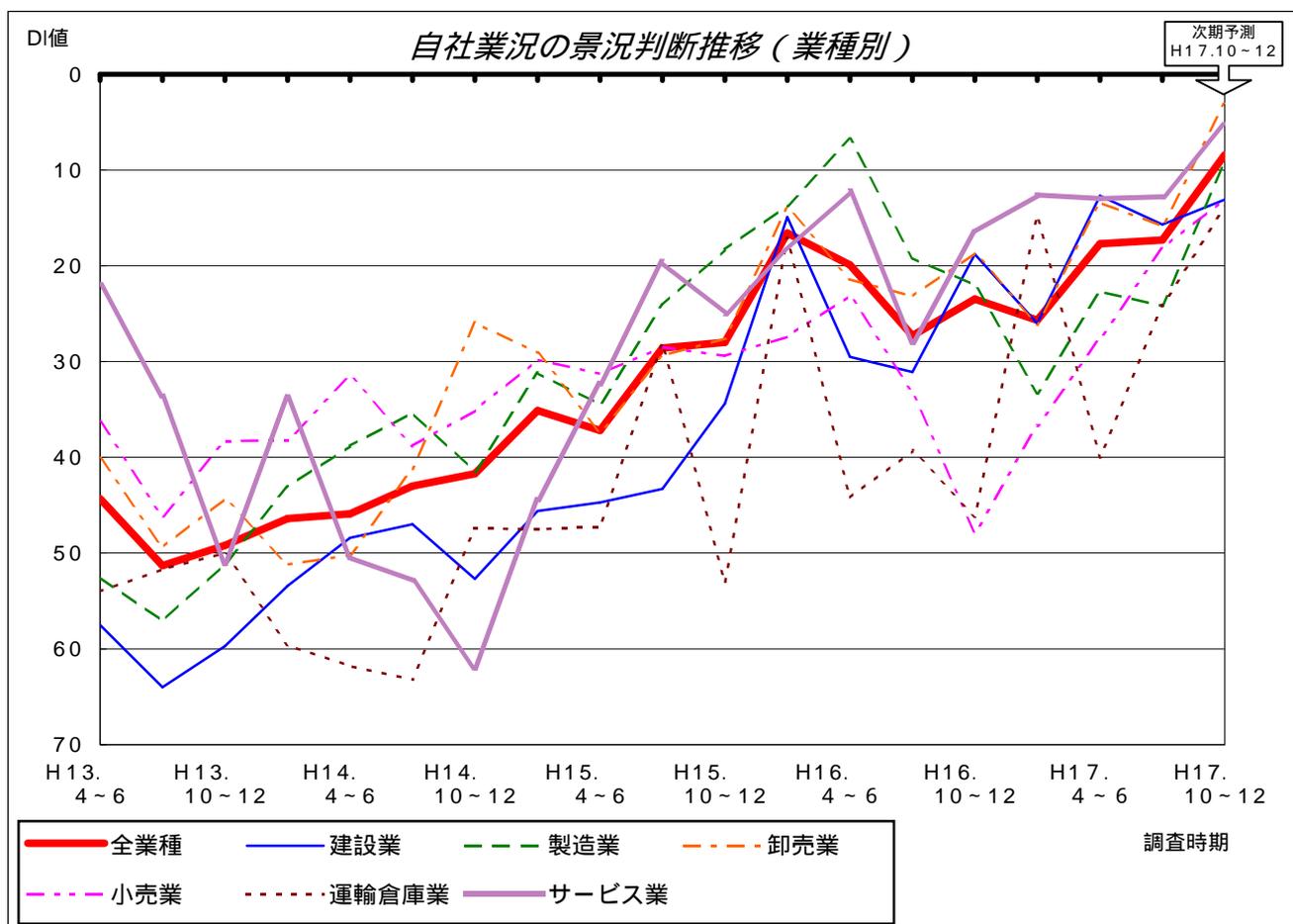
また、規模別の比較では、中小企業+1.2ポイント（前期DI 19.7）と改善した一方、大企業は-10.5ポイント（同5.9）と2期ぶりにDI値がマイナスに転じている。

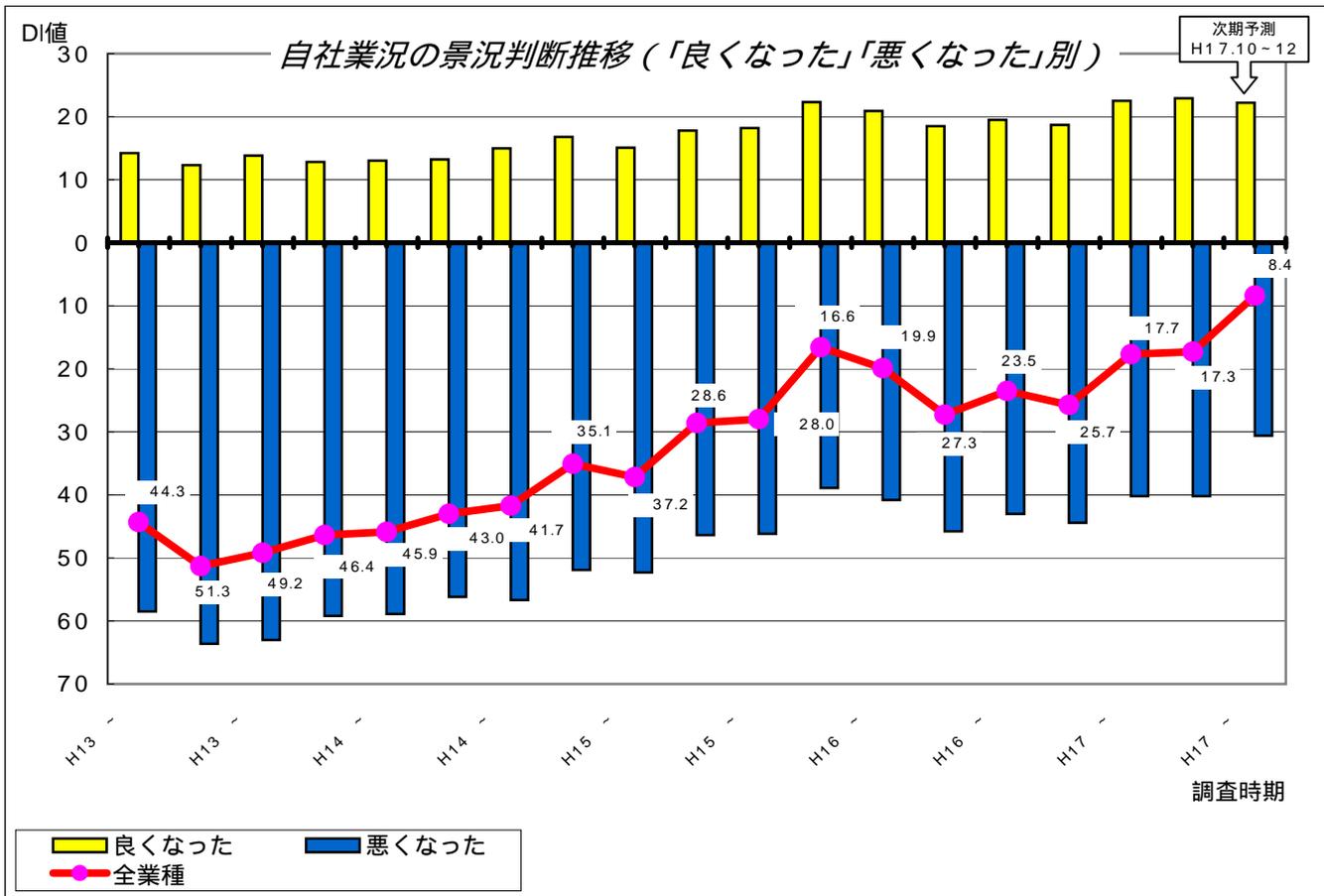
次四半期（H17年10～12月）の予測DI値は 8.4（今期比+8.9ポイント）となっており、改善が見込まれている。

（自社業況の総合判断(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(17年7～9月期)実績							次四半期(17年10～12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.2	21.7	36.8	33.5	6.7	0.1	17.3	1.0	21.2	44.2	26.7	3.9	3.0	8.4
建設業	0.7	19.1	44.7	28.9	6.6	0.0	15.7	0.0	19.1	46.1	28.9	3.3	2.6	13.1
製造業	2.5	17.5	35.8	32.5	11.7	0.0	24.2	0.8	20.0	43.3	22.5	7.5	5.8	9.2
卸売業	1.2	24.4	32.3	36.0	5.5	0.6	15.9	1.8	24.4	41.5	26.8	2.4	3.0	3.0
小売業	0.0	23.4	35.1	33.8	7.8	0.0	18.2	0.0	19.5	42.9	24.7	7.8	5.2	13.0
運輸・倉庫業	0.0	17.2	41.4	37.9	3.4	0.0	24.1	3.4	17.2	44.8	34.5	0.0	0.0	13.9
サービス業	1.4	25.0	34.5	35.1	4.1	0.0	12.8	1.4	22.3	46.6	27.0	2.0	0.7	5.3
中小企業	1.1	20.8	37.5	33.1	7.3	0.2	18.5	1.1	20.3	44.2	26.8	4.2	3.4	9.6
大企業	1.6	31.3	29.7	37.5	0.0	0.0	4.6	0.0	29.7	43.8	25.0	1.6	0.0	3.1





### 業界の景況

《2期連続の改善、次期予測はさらに改善へ》

また、地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数(DI)は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が11.2%、「悪くなった」と回答した企業割合が42.6%、横ばいであると回答した企業割合が45.2%となっており、DI値は31.4(前期DI 35.2)と前期比で+3.8ポイント改善している。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+22.2ポイント(前期DI 56.7)、建設業+7.8ポイント(同 36.7)、サービス業+2.4ポイント(同 25.3)、製造業+2.1ポイント(同 35.5)、卸売業+0.6ポイント(同 37.2)、小売業+0.2ポイント(同 37.9)とすべての業種で改善している。

規模別の比較では、中小企業は前期比+4.7ポイント(前期DI 37.6)と改善。一方で、大企業は前期比-11.2ポイント(同 6.0)と悪化している。

次四半期予測DI値は17.6と今期比+13.8ポイントの改善が予測されている。

(業界の景気動向(前年同期と比較して))

(単位%)

	今四半期(17年7~9月期)実績							次四半期(17年10~12月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.6	10.6	45.2	34.8	7.8	1.0	31.4	0.6	12.9	51.2	25.9	5.2	4.2	17.6
建設業	0.0	9.2	52.0	30.9	7.2	0.7	28.9	0.0	8.6	54.6	27.0	4.6	5.3	23.0
製造業	1.7	8.3	46.7	29.2	14.2	0.0	33.4	0.0	14.2	48.3	25.0	6.7	5.8	17.5
卸売業	0.6	11.6	37.2	42.7	6.1	1.8	36.6	1.8	14.6	47.0	28.7	3.7	4.3	16.0
小売業	0.0	11.7	39.0	39.0	10.4	0.0	37.7	0.0	13.0	49.4	24.7	9.1	3.9	20.8
運輸・倉庫業	0.0	10.3	44.8	44.8	0.0	0.0	34.5	0.0	10.3	51.7	34.5	3.4	0.0	27.6
サービス業	0.7	12.2	49.3	30.4	5.4	2.0	22.9	0.7	14.9	55.4	21.6	4.7	2.7	10.7
中小企業	0.5	10.1	44.9	35.0	8.5	1.1	32.9	0.6	12.5	50.3	26.7	5.4	4.5	19.0
大企業	1.6	15.6	48.4	32.8	1.6	0.0	17.2	0.0	17.2	59.4	18.8	3.1	1.6	4.7

## 2. 生産額、売上高、完成工事高

《2期連続の改善、次期予測はさらに改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は21.1%、「減った」と回答した企業割合は32.0%となっており、DI値は 10.9（前期 13.1）と前期比+2.2ポイント改善した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+23.1ポイント、小売業は+7.0ポイント、建設業+4.1ポイント、サービス業+1.5ポイント改善している。一方では製造業-2.9ポイント、卸売業-1.8ポイントと悪化している。

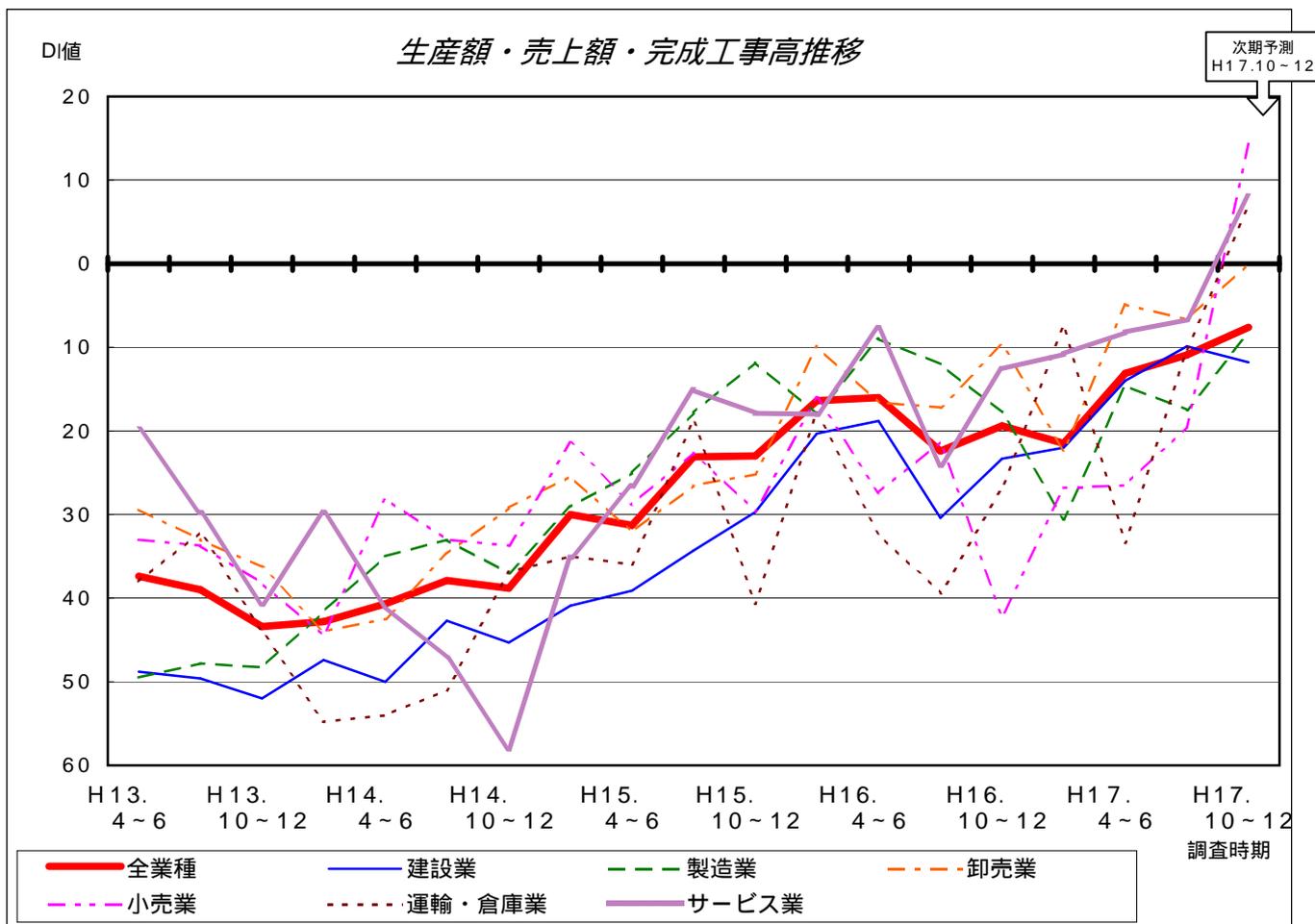
売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」58.9%、「得意先開拓・客数の増加」51.4%に集中している。一方で、減少した理由としては「受注、需要の減少」71.9%、「客単価の低下」35.7%、「得意先、客数の減少」31.2%の順となっている。

規模別では、中小企業はDI値(前期比)+2.3ポイント、大企業は同+1.2ポイントと共に改善している。

(生産額、売上額、完成工事高(前年同期と比較して))

(単位%)

	今四半期(17年7~9月期)実績							次四半期(17年10~12月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	3.3	17.8	44.3	25.2	6.8	2.5	10.9	1.6	15.7	52.2	21.4	3.5	5.7	7.6
建設業	4.6	13.2	51.3	21.1	6.6	3.3	9.9	0.7	11.2	58.6	20.4	3.3	5.9	11.8
製造業	3.3	16.7	41.7	26.7	10.8	0.8	17.5	2.5	16.7	47.5	21.7	5.8	5.8	8.3
卸売業	3.0	23.2	37.8	27.4	5.5	3.0	6.7	2.4	19.5	49.4	18.9	3.0	6.7	0.0
小売業	1.3	13.0	50.6	26.0	7.8	1.3	19.5	0.0	14.3	50.6	23.4	5.2	6.5	14.3
運輸・倉庫業	0.0	20.7	48.3	24.1	6.9	0.0	10.3	0.0	13.8	65.5	20.7	0.0	0.0	6.9
サービス業	4.1	19.6	42.6	25.7	4.7	3.4	6.7	2.0	16.2	50.7	24.3	2.0	4.7	8.1
中小企業	3.2	17.6	44.2	25.1	7.2	2.7	11.5	2.2	12.8	53.0	22.0	4.8	5.3	8.9
大企業	4.7	20.3	45.3	26.6	3.1	0.0	4.7	3.9	17.6	60.8	13.7	0.0	3.9	4.7



参考資料：（ 2. 生産額、売上高、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候などの自	増受注、又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは消費者の変化	製（商）品又は	金格改定、出荷の上下、販売価	促売進出等の販売	へ開進出、新製（商）分野品	業業者の参入、他同	客得数の先増開拓	又は客単価の低下
全業種	18.5	58.9	0.7	6.8	15.1	6.2	13.7	5.5	51.4	15.1	11.0
建設業	18.5	88.9	0.0	0.0	11.1	3.7	3.7	3.7	51.9	14.8	3.7
製造業	16.7	75.0	0.0	8.3	20.8	0.0	16.7	0.0	54.2	12.5	20.8
卸売業	14.0	48.8	0.0	11.6	20.9	4.7	20.9	4.7	53.5	9.3	16.3
小売業	54.5	18.2	0.0	9.1	27.3	18.2	18.2	9.1	27.3	27.3	0.0
運輸・倉庫業	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
サービス業	11.4	48.6	2.9	2.9	5.7	11.4	11.4	11.4	54.3	22.9	8.6
中小企業	16.9	60.8	0.8	6.9	15.4	3.8	13.8	5.4	54.6	14.6	12.3
大企業	31.3	43.8	0.0	6.3	12.5	25.0	12.5	6.3	25.0	18.8	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の扱、ダウン	採路工算線場、部門張、縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、増設、特	力老設の低下、店舗競争	又は両機は導機入設備、買、替車	員営の増減、外商社	手技の増者、減、運転	又は駐は閉場の増設	その他	無回答
全業種	4.1	1.4	0.7	2.1	0.0	2.1	6.8	1.4	0.7	2.7	1.4
建設業	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	14.8	3.7	0.0	7.4	0.0
製造業	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	9.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸・倉庫業	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	8.6	2.9	2.9	5.7	5.7
中小企業	3.8	0.8	0.8	0.0	0.0	2.3	6.9	1.5	0.8	3.1	1.5
大企業	6.3	6.3	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候などの自	増受注、又は需要の減少	情道路の変化、交通事	ズは消費者の変化	製（商）品又は	金格改定、出荷の上下、販売価	促売進出等の販売	へ開進出、新製（商）分野品	業業者の参入、他同	客得数の先増開拓	又は客単価の低下
全業種	11.8	71.9	0.9	16.3	22.2	1.8	3.6	20.8	31.2	35.7	7.7
建設業	2.4	81.0	0.0	0.0	9.5	0.0	2.4	23.8	23.8	31.0	0.0
製造業	8.9	84.4	0.0	13.3	42.2	2.2	4.4	8.9	37.8	26.7	13.3
卸売業	20.4	70.4	0.0	18.5	22.2	1.9	1.9	18.5	31.5	33.3	5.6
小売業	3.8	57.7	0.0	34.6	11.5	3.8	7.7	30.8	26.9	46.2	7.7
運輸・倉庫業	55.6	66.7	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	33.3	44.4	11.1
サービス業	8.9	62.2	0.0	22.2	20.0	2.2	4.4	28.9	33.3	44.4	11.1
中小企業	11.9	73.8	1.0	16.3	23.3	1.5	3.5	19.3	32.7	36.6	7.9
大企業	10.5	52.6	0.0	15.8	10.5	5.3	5.3	36.8	15.8	26.3	5.3

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の扱、ダウン	採路工算線場、部門張、縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、増設、特	力老設の低下、店舗競争	又は両機は導機入設備、買、替車	員営の増減、外商社	手技の増者、減、運転	又は駐は閉場の増設	その他	無回答
全業種	2.3	1.4	0.9	1.4	4.1	0.0	5.9	5.4	0.0	6.3	1.4
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	11.9	0.0	4.8	0.0
製造業	0.0	2.2	0.0	2.2	4.4	0.0	2.2	2.2	0.0	15.6	0.0
卸売業	5.6	1.9	1.9	1.9	3.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	7.7
運輸・倉庫業	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0
サービス業	2.2	2.2	0.0	2.2	6.7	0.0	11.1	4.4	0.0	8.9	2.2
中小企業	2.5	1.0	1.0	1.0	3.5	0.0	6.4	5.9	0.0	6.4	1.5
大企業	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

### 3. 原材料、製(商)品仕入価格

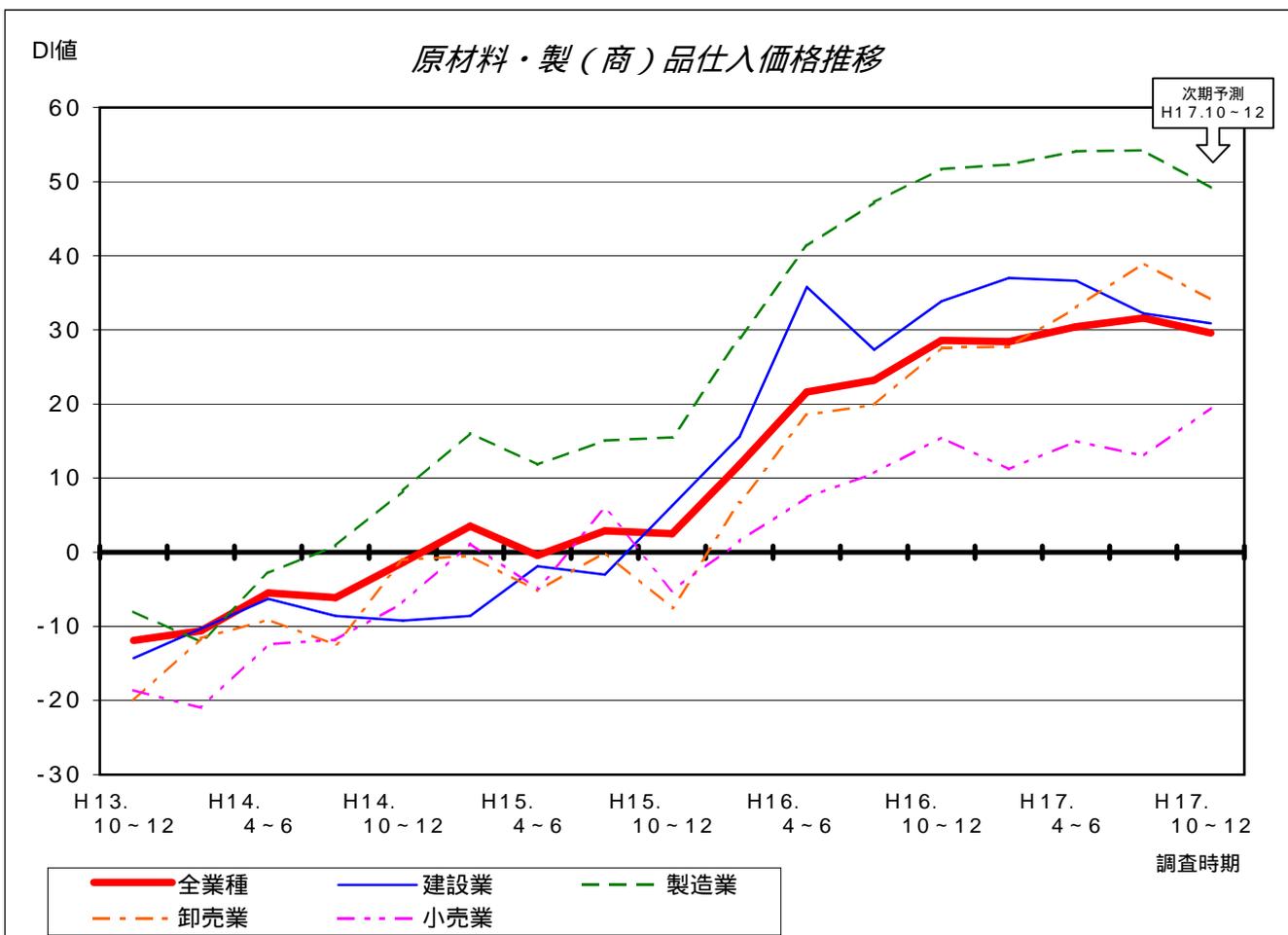
《2期連続の上昇、次期予測は反転し下落へ》

原材料、製(商)品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は34.2%、「下落」と回答した企業割合は2.6%となっており、DI値は31.6(前期30.4)と前期比+1.2ポイントの「上昇」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+6.0ポイント、製造業+0.1ポイントの上昇に対して、建設業-4.4ポイント、小売業-2.0ポイントの下降となっている。

また、次期予測DI値については、29.6と予測されており、今期比で-2.0ポイントの「下落」予測となっている。

	今四半期(17年7~9月期)実績					次四半期(17年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	34.2	54.8	2.6	8.4	31.6	31.9	53.8	2.3	12.0	29.6
建設業	34.2	58.6	2.0	5.3	32.2	32.2	56.6	1.3	9.9	30.9
製造業	54.2	45.0	0.0	0.8	54.2	50.0	44.2	0.8	5.0	49.2
卸売業	42.7	51.8	3.7	1.8	39.0	37.8	55.5	3.7	3.0	34.1
小売業	20.8	70.1	7.8	1.3	13.0	23.4	66.2	3.9	6.5	19.5
運輸・倉庫業	31.0	27.6	0.0	41.4	31.0	31.0	20.7	3.4	44.8	27.6
サービス業	16.2	59.5	2.0	22.3	14.2	14.9	56.8	2.0	26.4	12.9
中小企業	34.7	54.6	2.6	8.1	32.1	32.6	53.2	2.2	12.0	30.4
大企業	29.7	56.3	3.1	10.9	26.6	25.0	59.4	3.1	12.5	21.9



#### 4. 受注価格、販売価格

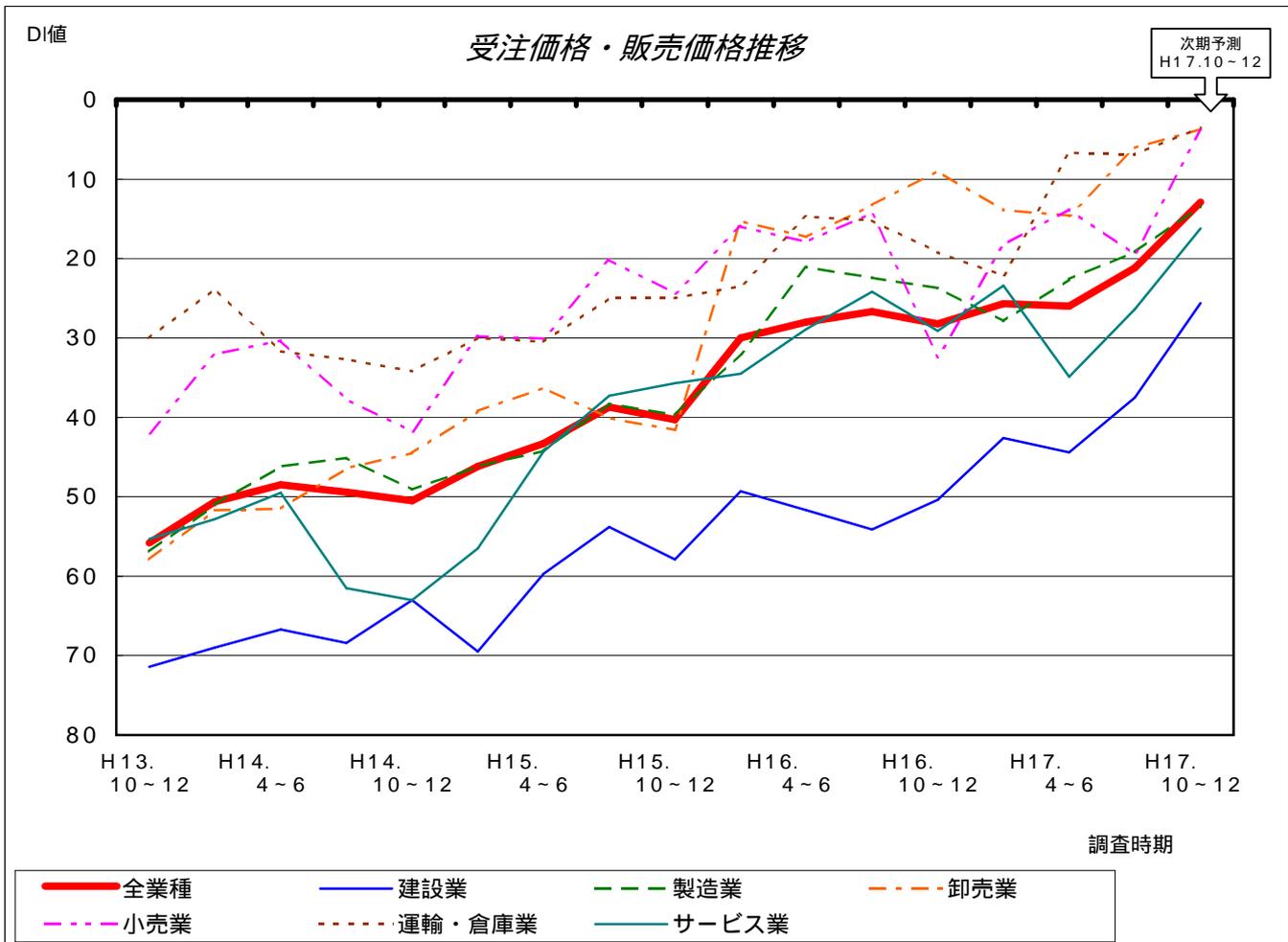
《2期ぶりの改善、次期予測はさらに改善へ》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は7.2%、「下落」と回答した企業割合は28.4%となっており、DI値は21.2（前期DI値26.0）と前期比+4.8ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業+8.5ポイント、サービス業+8.5ポイント、建設業+6.9ポイント、製造業+3.4ポイントの改善となっている。一方では、運輸・倉庫業-0.2ポイント、小売業-5.7ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については、12.9となっており、今期比で+8.3ポイントの改善となっている。

	今四半期(17年7~9月期)実績					次四半期(17年10~12月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	7.2	61.2	28.4	3.2	21.2	8.8	62.5	21.7	7.0	12.9
建設業	1.3	57.2	38.8	2.6	37.5	3.3	61.2	28.9	6.6	25.6
製造業	7.5	65.0	26.7	0.8	19.2	8.3	63.3	21.7	6.7	13.4
卸売業	13.4	66.5	19.5	0.6	6.1	12.2	69.5	15.9	2.4	3.7
小売業	7.8	63.6	27.3	1.3	19.5	16.9	55.8	20.8	6.5	3.9
運輸・倉庫業	0.0	79.3	6.9	13.8	6.9	3.4	72.4	6.9	17.2	3.5
サービス業	7.4	51.4	33.8	7.4	26.4	8.1	56.8	24.3	10.8	16.2
中小企業	7.2	60.2	29.1	3.5	21.9	8.8	61.5	22.2	7.5	13.4
大企業	7.8	70.3	21.9	0.0	14.1	9.4	71.9	17.2	1.6	7.8



## 5. 製（商）品在庫

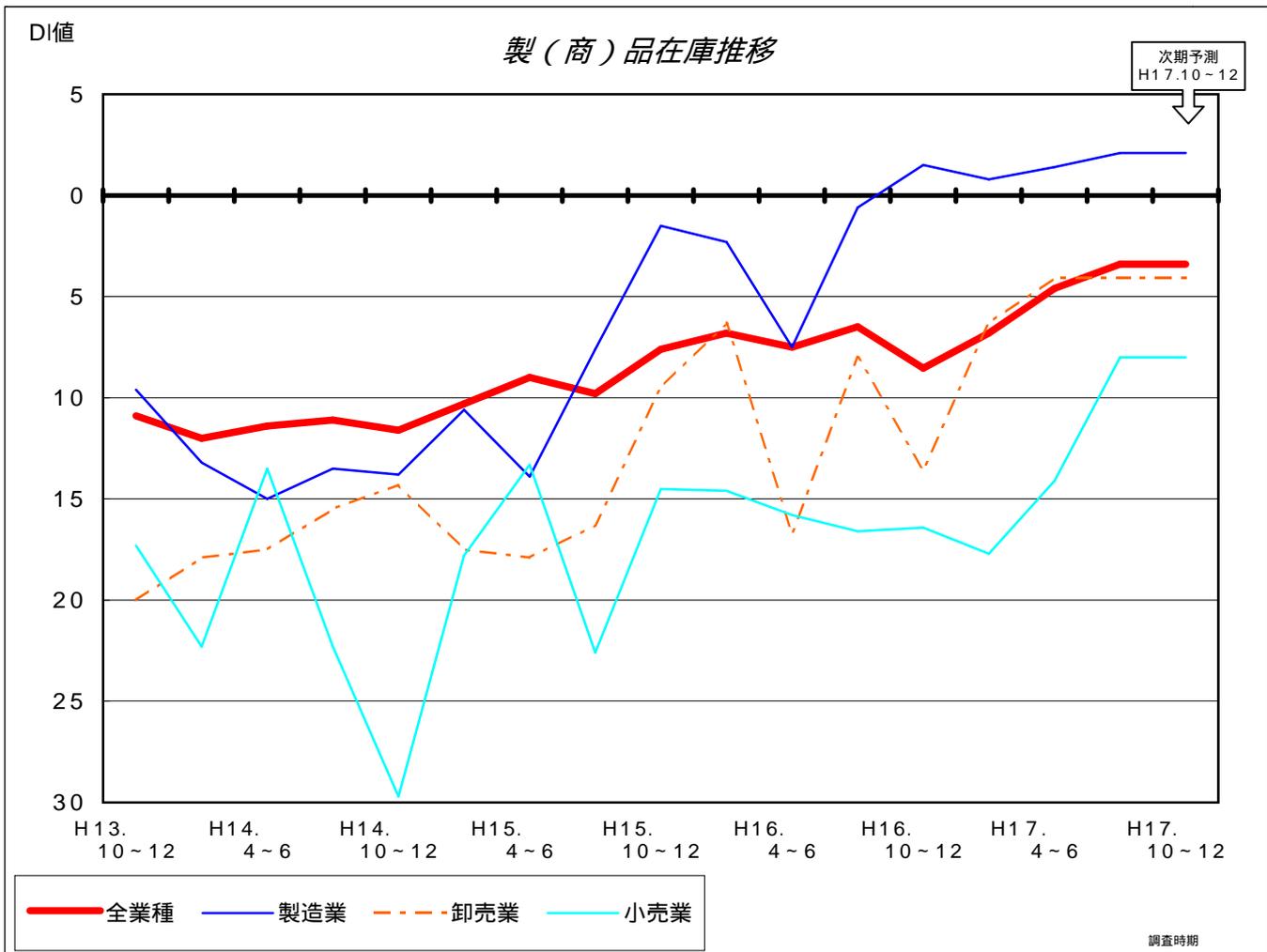
《3期ぶりに悪化、次期予測は反転し改善へ》

製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は64.8%、「不足」と回答した企業割合は2.3%、「過剰」と回答した企業割合は9.9%となっており、DI値は7.6と前期比で3.0ポイント（前期DI値4.6）悪化している。

次四半期予測DI値については3.3となっており、今期比で+4.3ポイントの改善が予測されている。

（製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）） （単位 %）

	今四半期(17年7～9月期)実績					次四半期(17年10～12月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	2.3	64.8	9.9	23.0	7.6	2.6	65.2	5.9	26.2	3.3
建設業	1.3	48.7	4.6	45.4	3.3	1.3	49.3	2.0	47.4	0.7
製造業	2.5	85.0	10.8	1.7	8.3	1.7	85.8	5.8	6.7	4.1
卸売業	2.4	78.0	17.1	2.4	14.7	3.7	81.7	9.8	4.9	6.1
小売業	1.3	72.7	20.8	5.2	19.5	1.3	72.7	16.9	9.1	15.6
運輸・倉庫業	0.0	24.1	3.4	72.4	3.4	3.4	20.7	0.0	75.9	3.4
サービス業	4.1	54.1	2.0	39.9	2.1	4.1	51.4	1.4	43.2	2.7
中小企業	2.6	64.4	10.1	23.0	7.5	2.9	64.5	6.1	26.5	3.2
大企業	0.0	68.8	7.8	23.4	7.8	0.0	71.9	4.7	23.4	4.7



## 6. 営業利益

《3期ぶりに悪化、次期予測は反転し改善へ》

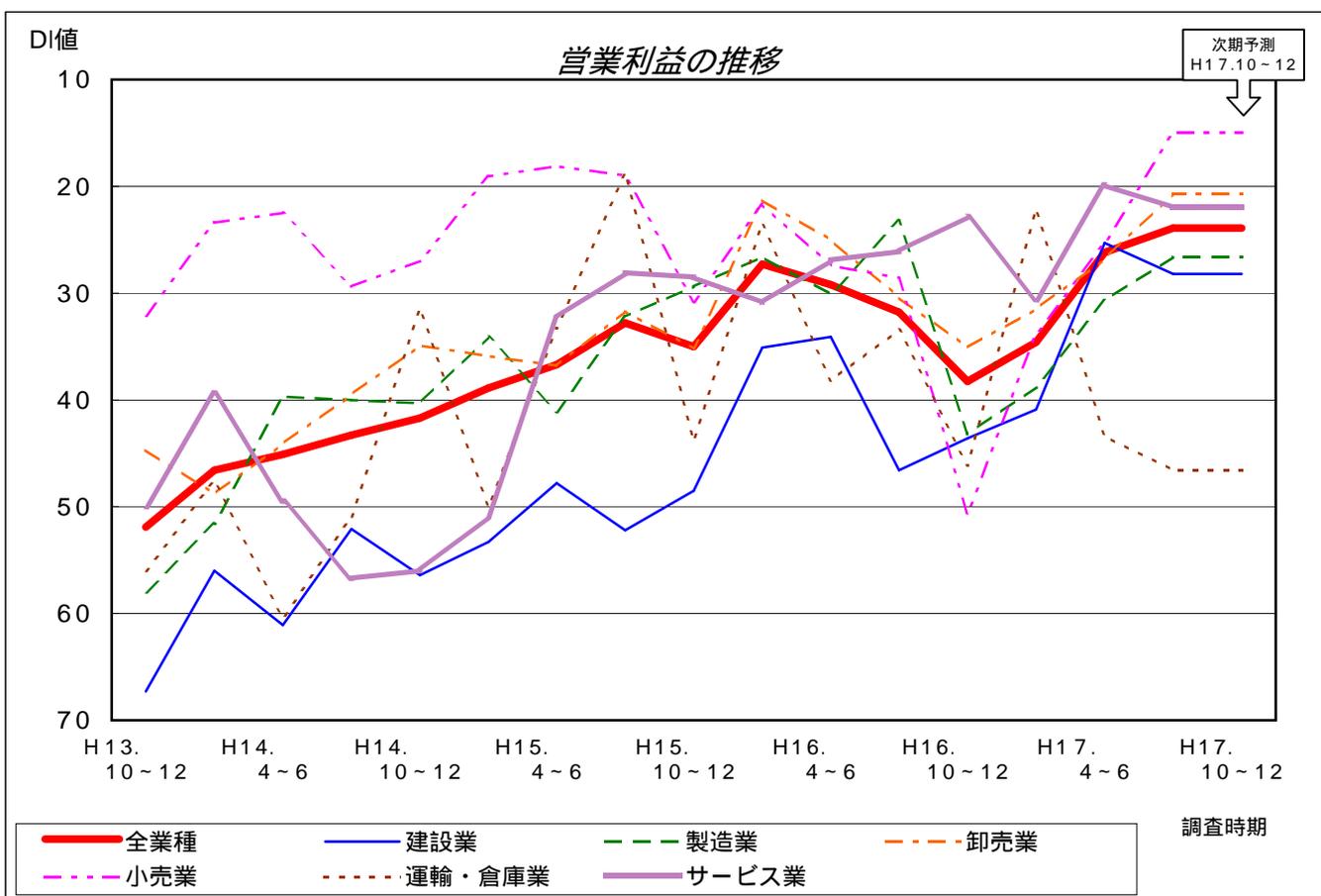
営業利益は、「減少した」と回答した企業割合は43.2%、「横ばい」と回答した企業割合は38.3%、「増加」と回答した企業割合は16.7%となり、DI値は26.5と前期比-0.3ポイント悪化した（前期DI 26.2）。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+29.6ポイント（前期DI 43.4）、卸売業+2.4ポイント（同 26.8）、建設業+0.3ポイント（前期DI 25.3）改善している。一方では、小売業-5.9ポイント（同 25.3）、サービス業-5.8ポイント（同 19.9）、製造業-1.8ポイント（同 30.7）と悪化している。

規模別では、中小企業はDI値 27.1と前期比±0ポイント、大企業はDI値 20.4で前期比-4.7ポイントとなっている。

次四半期予測DI値は 21.3と、今期比で+5.2ポイントの改善が予測されている。

	（ 営業利益(前年同期と比較して) ）					（ 単位 % ）				
	今四半期(17年7~9月期)実績					次四半期(17年10~12月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	16.7	38.3	43.2	1.9	26.5	12.2	48.3	33.5	6.1	21.3
建設業	12.5	46.7	37.5	3.3	25.0	7.9	52.6	32.2	7.2	24.3
製造業	16.7	33.3	49.2	0.8	32.5	12.5	45.8	36.7	5.0	24.2
卸売業	16.5	42.1	40.9	0.6	24.4	12.2	54.9	29.3	3.7	17.1
小売業	14.3	37.7	45.5	2.6	31.2	11.7	44.2	36.4	7.8	24.7
運輸・倉庫業	24.1	31.0	37.9	6.9	13.8	10.3	34.5	41.4	13.8	31.1
サービス業	20.9	31.1	46.6	1.4	25.7	16.9	43.2	33.8	6.1	16.9
中小企業	16.0	38.8	43.1	2.1	27.1	11.3	48.2	34.0	6.4	22.7
大企業	23.4	32.8	43.8	0.0	20.4	20.3	48.4	28.1	3.1	7.8



## 7. 売掛期間

《2期ぶりの悪化、次期予測は引き続き悪化へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.3%、「長期化」と回答した企業割合は11.0%、「不変」と回答した企業割合は85.2%となっており、DI値は9.7と前期比-0.9ポイント悪化した。

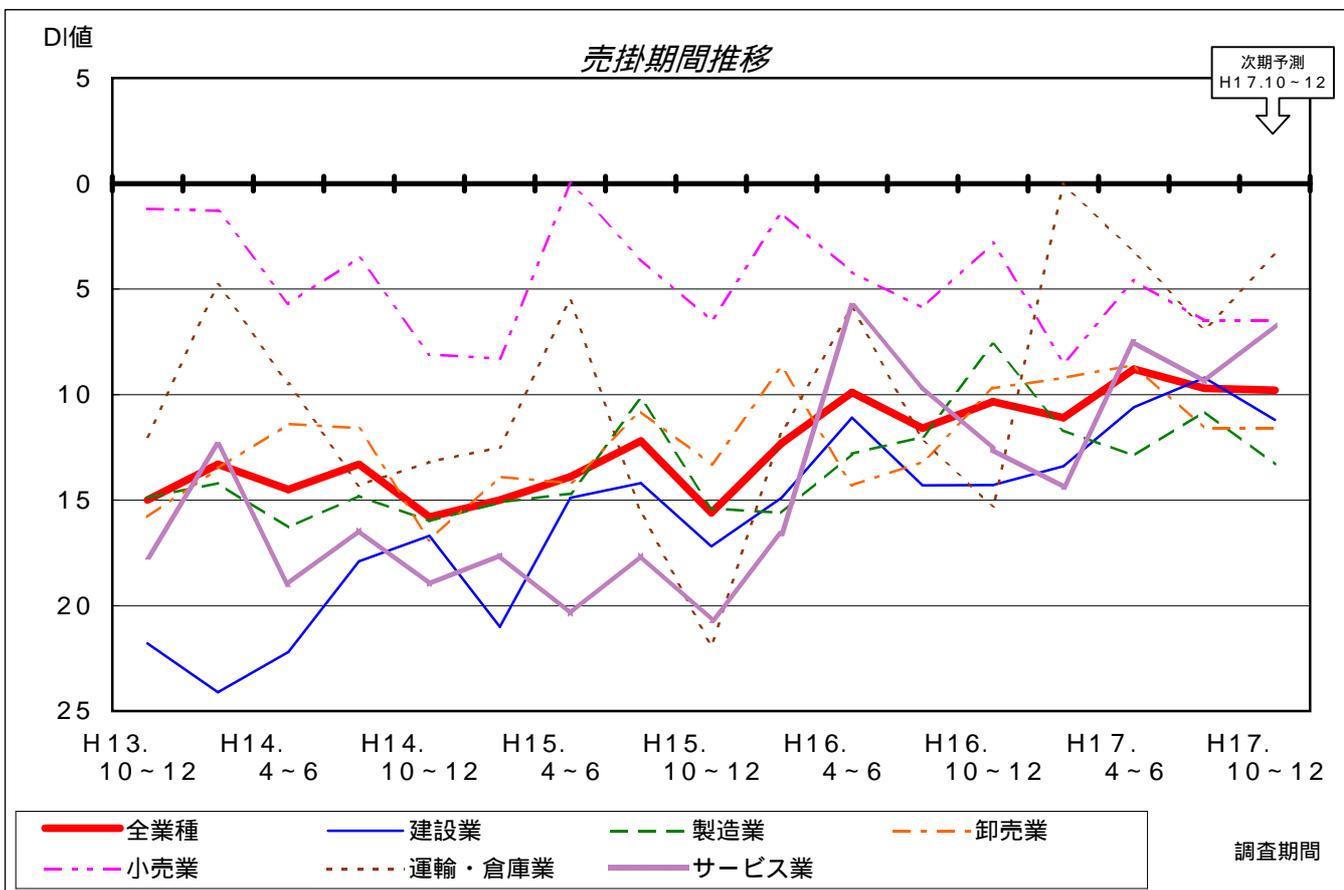
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-1.1ポイント（前期9.6）、大企業は前期比-2.0ポイント（同0.0）と共に悪化している。

次四半期のDI値については9.8と、今期比で-0.1ポイントの悪化が予測されている。

（売掛期間（前年同期と比較して））

（単位 %）

	今四半期(17年7~9月期)実績					次四半期(17年10~12月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	1.3	85.2	11.0	2.5	9.7	1.2	81.3	11.0	6.5	9.8
建設業	0.7	86.8	9.9	2.6	9.2	1.3	78.3	12.5	7.9	11.2
製造業	1.7	84.2	12.5	1.7	10.8	0.0	82.5	13.3	4.2	13.3
卸売業	1.8	83.5	13.4	1.2	11.6	1.8	81.7	13.4	3.0	11.6
小売業	1.3	88.3	7.8	2.6	6.5	1.3	84.4	7.8	6.5	6.5
運輸・倉庫業	0.0	86.2	6.9	6.9	6.9	0.0	79.3	3.4	17.2	3.4
サービス業	1.4	84.5	10.8	3.4	9.4	1.4	81.8	8.1	8.8	6.7
中小企業	1.3	84.0	12.0	2.7	10.7	1.1	79.9	12.0	7.0	10.9
大企業	1.6	96.9	1.6	0.0	0.0	1.6	95.3	1.6	1.6	0.0



## 8. 資金繰り

《2期連続の改善、次期予測もさらに改善へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は6.8%、「苦しい」と回答した企業は25.2%、「不変」と回答した企業は66.2%となっており、DI値は 18.4（前期 19.1）と前期比+0.7ポイント改善している。

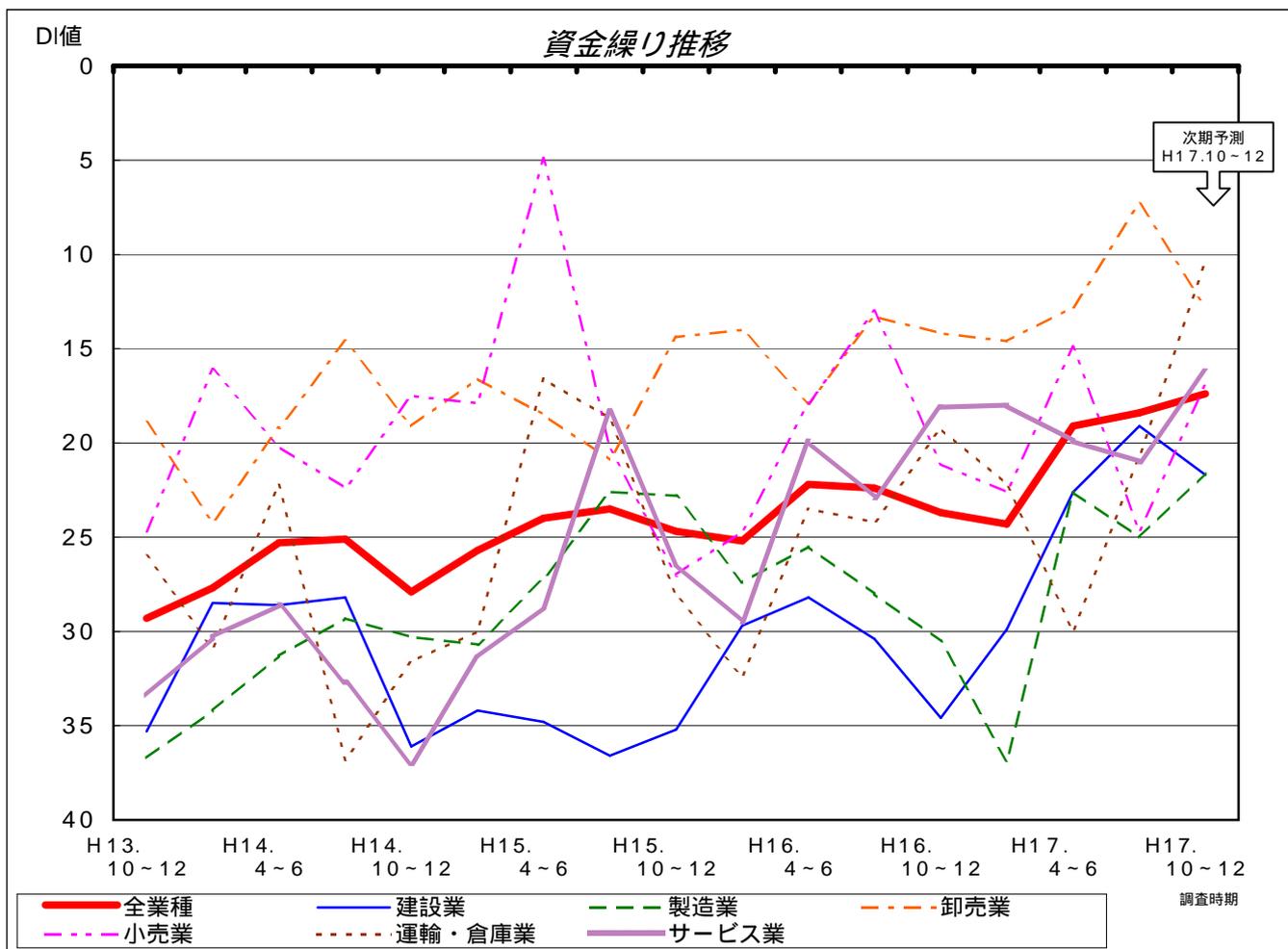
業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業+9.3ポイント、卸売業+5.5ポイント、建設業+3.5ポイントの改善に対して、小売業-9.8ポイント、製造業-2.4ポイント、サービス業-1.1ポイント、と悪化している。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比で+0.9ポイントの改善、大企業は同-6.2ポイントの悪化となった。

（資金繰り(前年同期と比較して)）

（単位 %）

	今四半期(17年7~9月期)実績					次四半期(17年10~12月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	6.8	66.2	25.2	1.7	18.4	4.9	67.2	22.3	5.5	17.4
建設業	6.6	64.5	25.7	3.3	19.1	4.6	61.8	26.3	7.2	21.7
製造業	5.0	65.0	30.0	0.0	25.0	6.7	62.5	28.3	2.5	21.6
卸売業	10.4	70.7	17.7	1.2	7.3	4.3	75.6	17.1	3.0	12.8
小売業	2.6	68.8	27.3	1.3	24.7	2.6	70.1	19.5	7.8	16.9
運輸・倉庫業	3.4	65.5	24.1	6.9	20.7	3.4	65.5	13.8	17.2	10.4
サービス業	7.4	62.8	28.4	1.4	21.0	6.1	66.2	22.3	5.4	16.2
中小企業	7.0	64.5	26.7	1.8	19.7	5.1	65.3	23.8	5.8	18.7
大企業	4.7	82.8	10.9	1.6	6.2	3.1	85.9	7.8	3.1	4.7



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は46.8%(前期42.9%)と前期比で3.9%の増加となっている。一方で、「行っていない」とする企業は51.3%(前期55.7%)と前期比で4.4%減少した。

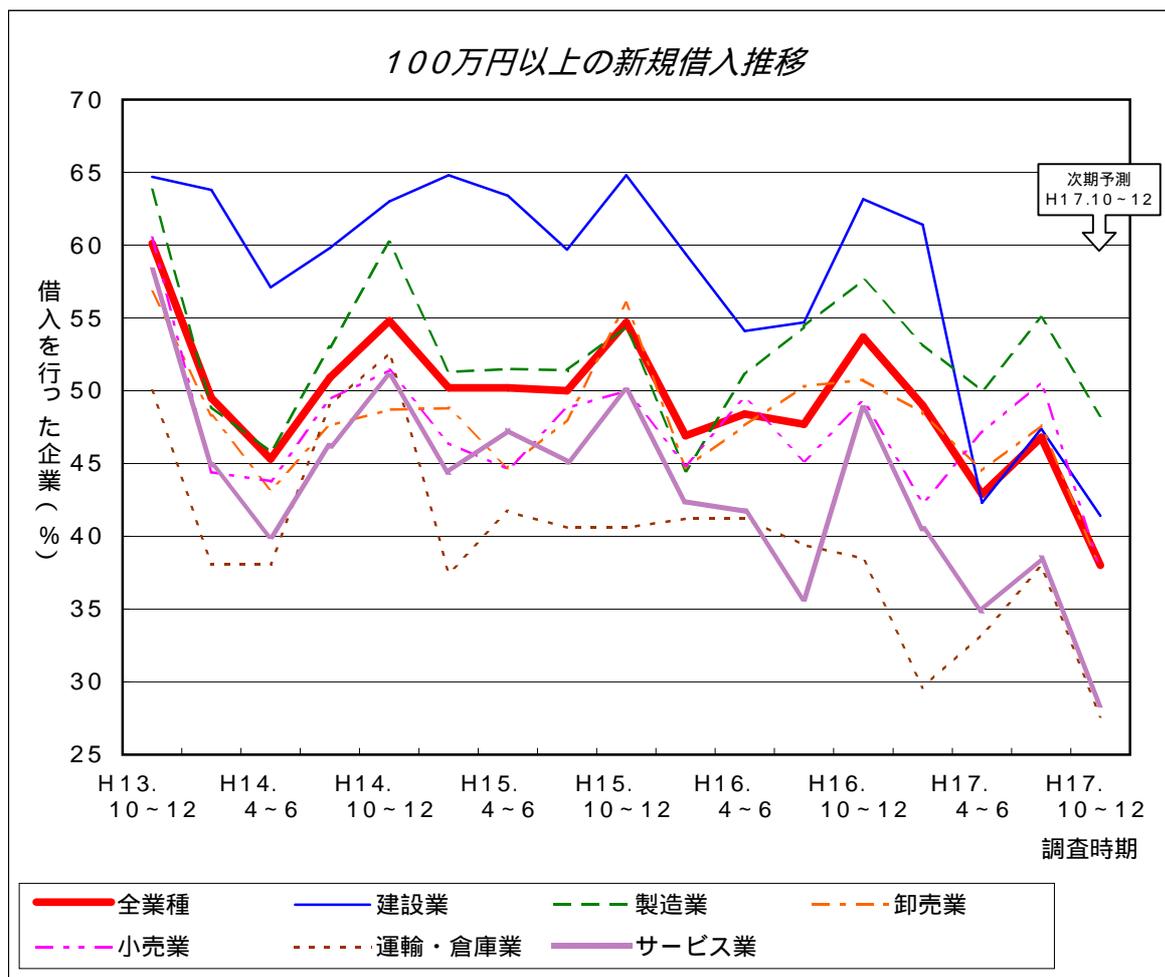
資金用途については、「運転」74.6%、「運転・設備」12.7%、「設備」6.8%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は38.0%、「行わない」とする企業は56.4%となっている。

(100万円以上の新規借入)

(単位%)

	今四半期(17年7~9月期)実績			次四半期(17年10~12月期)予測		
	行った	行っていない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	46.8	51.3	1.9	38.0	56.4	5.7
建設業	47.4	50.7	2.0	41.4	52.6	5.9
製造業	55.0	44.2	0.8	48.3	47.5	4.2
卸売業	47.6	49.4	3.0	37.8	59.1	3.0
小売業	50.6	49.4	0.0	37.7	55.8	6.5
運輸・倉庫業	37.9	58.6	3.4	27.6	65.5	6.9
サービス業	38.5	59.5	2.0	28.4	62.8	8.8
中小企業	46.3	52.1	1.6	36.7	57.7	5.6
大企業	51.6	43.8	4.7	50.0	43.8	6.3



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	74.6	12.7	6.8	5.9	75.2	14.5	4.6	5.7
建設業	80.6	13.9	1.4	4.2	81.0	12.7	0.0	6.3
製造業	77.3	12.1	4.5	6.1	79.3	13.8	3.4	3.4
卸売業	74.4	11.5	9.0	5.1	75.8	11.3	4.8	8.1
小売業	59.0	23.1	10.3	7.7	58.6	24.1	13.8	3.4
運輸・倉庫業	81.8	9.1	9.1	0.0	75.0	12.5	12.5	0.0
サービス業	73.7	7.0	10.5	8.8	71.4	16.7	4.8	7.1
中小企業	78.3	10.0	6.2	5.5	80.0	11.3	3.5	5.2
大企業	42.4	36.4	12.1	9.1	40.6	37.5	12.5	9.4

## 10. 100万円以上の設備投資

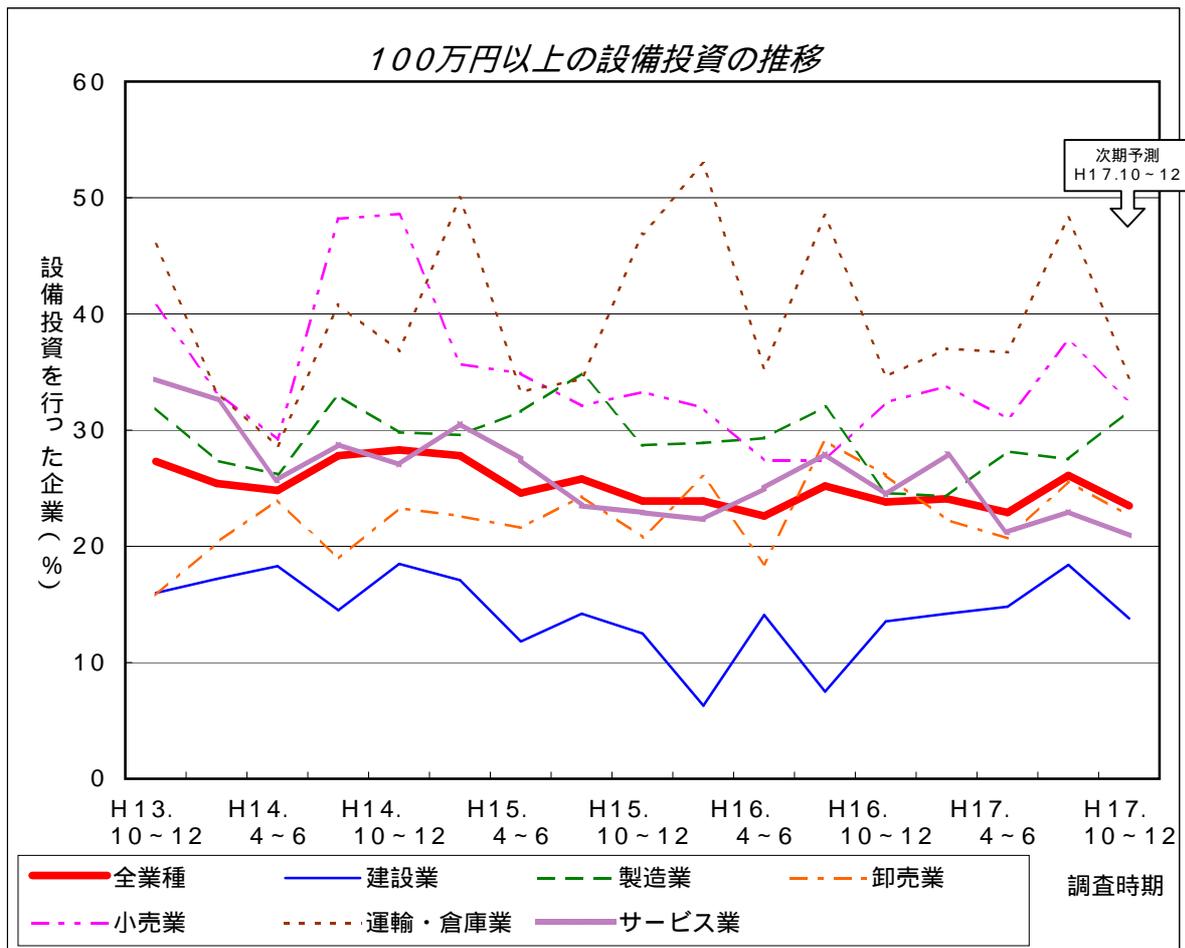
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は26.1%、「行ってない」とする企業は69.3%となっており、その投資内容については、「新規」27.2%、「新規・更新」36.1%、「更新」29.4%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は23.5%、「行わない」とする企業は69.4%であり、その投資内容については、「新規」27.2%、「新規・更新」37.0%、「更新」30.9%となっている。

( 100万円以上の設備投資 )

( 単位 % )

	今四半期(17年7~9月期)実績			次四半期(17年10~12月)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	26.1	69.3	4.6	23.5	69.4	7.1
建設業	18.4	77.0	4.6	13.8	78.3	7.9
製造業	27.5	65.8	6.7	31.7	61.7	6.7
卸売業	25.6	68.3	6.1	22.6	73.2	4.3
小売業	37.7	61.0	1.3	32.5	57.1	10.4
運輸・倉庫業	48.3	48.3	3.4	34.5	62.1	3.4
サービス業	23.0	73.6	3.4	20.9	70.3	8.8
中小企業	22.0	73.2	4.8	19.0	73.6	7.3
大企業	65.6	31.3	3.1	67.2	28.1	4.7



## 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	27.2	36.1	29.4	7.2	27.2	37.0	30.9	4.9
建設業	32.1	28.6	32.1	7.1	28.6	28.6	33.3	9.5
製造業	12.1	39.4	42.4	6.1	21.1	44.7	28.9	5.3
卸売業	23.8	42.9	26.2	7.1	24.3	48.6	27.0	0.0
小売業	34.5	44.8	13.8	6.9	28.0	44.0	20.0	8.0
運輸・倉庫業	21.4	28.6	50.0	0.0	30.0	10.0	60.0	0.0
サービス業	38.2	26.5	23.5	11.8	35.5	22.6	35.5	6.5
中小企業	30.4	30.4	32.6	6.5	32.8	30.3	32.8	4.2
大企業	16.7	54.8	19.0	9.5	11.6	55.8	25.6	7.0

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」58.7%、「売上高、生産額、工事高の伸び悩み」52.0%、「営業利益の低下」43.9%の3項目を指摘する傾向が依然として続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、運輸・倉庫業の「人材難、求人難、定着性の悪化」55.2%・「販売価格への転嫁難」41.4%・「経費の増加」37.9%、建設業の「官公需要の停滞」40.1%、製造業の「原材料高、入手難」33.3%・「販売価格への転嫁難」38.3%、卸売業の「販売価格への転嫁難」32.3%、小売業の「同業者、類似店、大型店の進出」31.2%が挙げられ、3割を越す指摘となっている。

( 当面の経営上の問題点(複数回答可) )

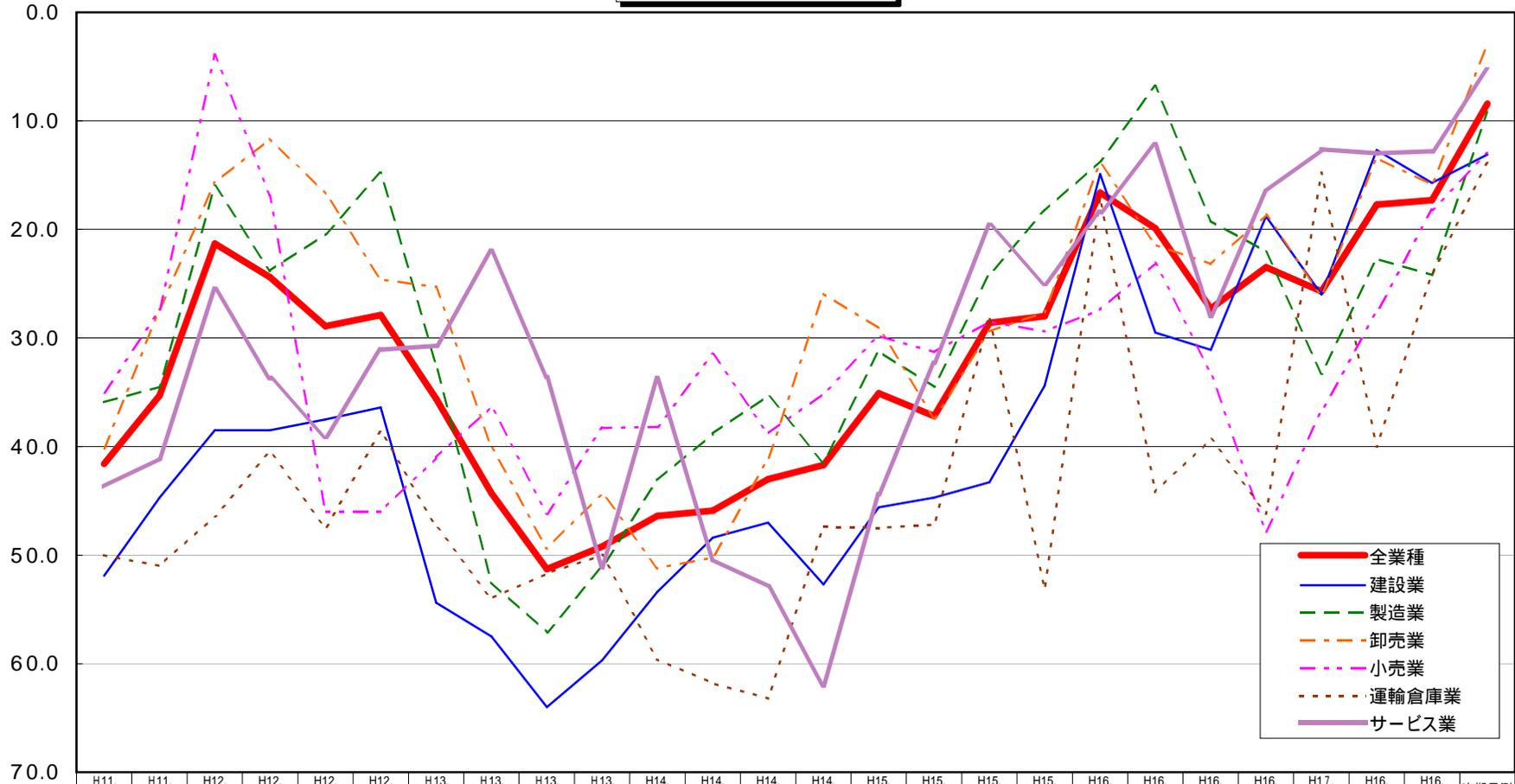
( 単位 % )

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、工事高の産伸	出店、業者、大型、店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、代金の回収	化売、掛金の長期
全業種	58.7	52.0	13.9	17.7	0.4	6.1	4.2	17.1	15.7	3.5	23.3	6.1	8.7
建設業	71.1	62.5	7.2	40.1	0.0	21.7	1.3	13.8	7.2	0.0	8.6	5.3	9.2
製造業	55.8	55.8	5.8	13.3	0.8	1.7	6.7	33.3	22.5	4.2	38.3	5.0	10.0
卸売業	62.2	47.0	16.5	12.2	1.2	1.2	3.7	17.7	24.4	7.3	32.3	11.6	10.4
小売業	48.1	46.8	31.2	2.6	0.0	1.3	0.0	10.4	13.0	6.5	20.8	3.9	7.8
運輸・倉庫業	48.3	41.4	13.8	13.8	0.0	3.4	20.7	24.1	20.7	3.4	41.4	6.9	6.9
サービス業	52.0	48.6	15.5	12.8	0.0	2.0	4.7	8.8	9.5	0.7	14.2	2.7	6.1
中小企業	58.6	53.4	12.9	18.4	0.5	6.7	4.5	16.9	16.1	3.5	23.5	6.7	9.1
大企業	59.4	39.1	23.4	10.9	0.0	0.0	1.6	18.8	10.9	3.1	21.9	0.0	4.7

問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代刺、舗、老朽化、設備過	が家賃地代の値上	化難人、材、定着、性、求人悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他	無回答
全業種	22.5	43.9	1.6	6.2	0.7	17.7	5.9	2.9	7.8	7.1	5.4	2.2	2.8
建設業	17.1	50.0	2.0	0.0	0.0	17.1	6.6	1.3	9.2	9.2	4.6	1.3	1.3
製造業	20.0	45.8	3.3	8.3	0.0	10.0	5.0	0.8	8.3	9.2	2.5	1.7	3.3
卸売業	25.6	41.5	1.2	6.7	0.6	9.1	4.3	2.4	4.9	4.9	4.3	1.8	1.8
小売業	18.2	40.3	0.0	10.4	2.6	16.9	6.5	2.6	10.4	7.8	5.2	1.3	3.9
運輸・倉庫業	37.9	31.0	3.4	6.9	3.4	55.2	10.3	3.4	6.9	3.4	13.8	6.9	3.4
サービス業	25.7	43.2	0.7	8.1	0.7	27.0	6.8	6.8	8.1	6.1	8.1	3.4	4.1
中小企業	22.5	45.7	1.6	6.2	0.6	17.9	5.9	2.4	8.3	7.5	5.9	2.2	2.9
大企業	21.9	26.6	1.6	6.3	1.6	15.6	6.3	7.8	3.1	3.1	0.0	1.6	1.6



### 自事業況DI値の推移



	H11. 7~9	H11. 10~12	H12. 1~3	H12. 4~6	H12. 7~9	H12. 10~12	H13. 1~3	H13. 4~6	H13. 7~9	H13. 10~12	H14. 1~3	H14. 4~6	H14. 7~9	H14. 10~12	H15. 1~3	H15. 4~6	H15. 7~9	H15. 10~12	H16. 1~3	H16. 4~6	H16. 7~9	H16. 10~12	H17. 1~3	H16. 4~6	H16. 7~9	次期予測
全業種	41.6	35.3	21.3	24.4	28.9	27.9	35.6	44.3	51.3	49.2	46.4	45.9	43.0	41.7	35.1	37.2	28.6	28.0	16.6	19.9	27.3	23.5	25.7	17.7	17.3	8.4
建設業	51.9	44.7	38.5	38.5	37.5	36.4	54.4	57.5	64.0	59.7	53.4	48.4	47.0	52.7	45.6	44.7	43.3	34.4	14.9	29.5	31.1	18.8	26.0	12.7	15.7	13.1
製造業	35.9	34.5	16.0	23.8	20.4	14.8	32.5	52.5	57.1	51.1	43.1	38.8	35.3	41.5	31.2	34.5	24.1	18.3	13.7	6.8	19.2	22.0	33.3	22.7	24.2	9.2
卸売業	40.2	27.4	15.7	11.6	16.7	24.6	25.3	40.1	49.4	44.3	51.2	50.2	41.2	25.9	29.1	37.4	29.4	27.6	13.9	21.4	23.2	18.7	26.1	13.4	15.9	3.0
小売業	35.0	27.5	3.9	16.9	46.0	46.0	41.0	36.3	46.2	38.3	38.2	31.5	38.8	35.1	29.8	31.3	28.5	29.4	27.4	23.1	33.2	47.9	36.7	27.6	18.2	13.0
運輸倉庫業	50.0	51.0	46.4	40.5	47.5	38.6	47.4	54.0	51.7	50.0	59.6	61.8	63.2	47.4	47.5	47.2	28.1	53.1	17.1	44.2	39.3	46.2	14.8	40.0	24.1	13.9
サービス業	43.7	41.1	25.5	33.7	39.1	31.1	30.7	22.0	33.6	51.1	33.7	50.4	52.9	62.0	44.4	32.3	19.6	25.0	18.4	12.2	28.0	16.5	12.6	13.0	12.8	5.3